

民進党千葉県第10区総支部
〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2
TEL0478-54-5678 FAX0478-52-6991
Mail:info@hajime-yatagawa.com



元衆議院議員 谷田川 はじめ

【谷田川はじめプロフィール】

1963年 1月17日香取市に生まれる
 1981年 千葉県立佐原高校卒業
 1985年 早稲田大学政治経済学部卒業
 同年 丸紅(株)入社
 1988年 (財)松下政経塾入塾
 在塾中、米国連邦下院議員政策
 スタッフとして活動
 1991年 衆議院議員山村新治郎秘書
 1993年 千葉県議会議員初当選
 以後4期連続当選
 2009年 衆議院議員初当選
 拉致問題特別委員会理事
 国土交通委員会委員
 民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
 2012年 再選を目指したものの惜敗
 2014年 振り返きを目指すもわずか10票で比例区
 当選に届かず

【現在】 民進党千葉県第10区総支部長
 千葉県ハンドボール協会会長

アベノミクスの大きな矛盾 賃金が下がることを想定した「年金カット法案」

安倍政権が、今国会で成立を目指す年金制度改革法案には大きな問題があることが、10月12日の衆院予算委員会におけるわが党の玉木議員の質疑で明らかになりました。

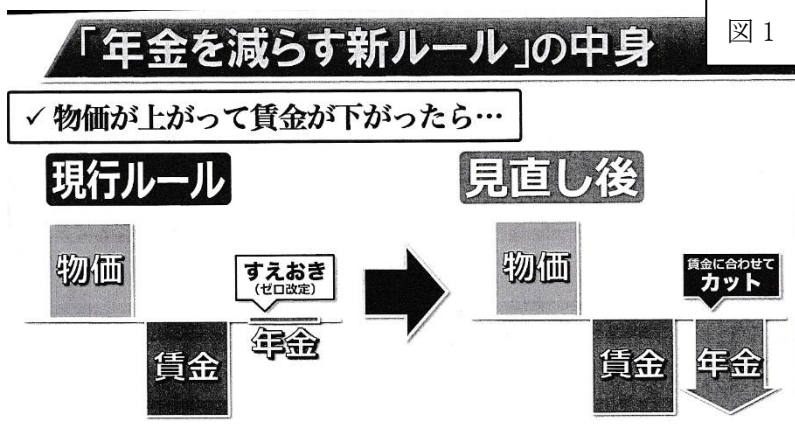
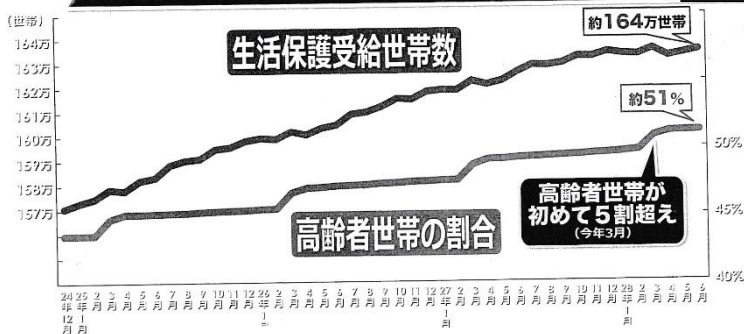


図1が示すように、現行ルールは、高齢者の生活に配慮し、物価が上がって賃金が下がったら、年金額は据え置かれます。しかし、今回提案された新ルールは、賃金に合わ

せて年金を減額できる内容で、政府は2021年度からこの新ルールを導入しようとしています。物価が上がっても年金をカットすることを可能とする史上初めての法案で、私ども民進党は「年金カット法案」と呼んでいます。

増え続ける高齢者の生活保護

グラフ1



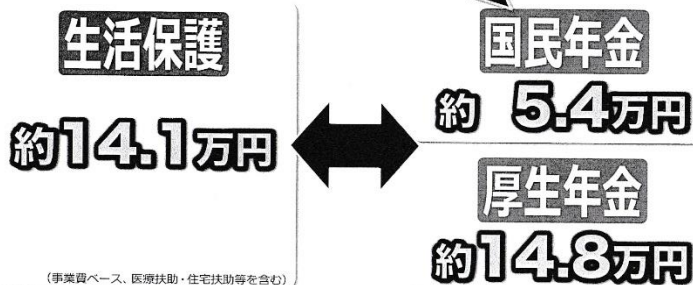
グラフ1が示すように毎月生活保護者受給世帯数は増加し、今年3月に高齢者世帯の割合が初めて5割を超えました。年金だけでは老後を支えきれない実情があらわになっています。

図2

さらに図2にあるように年金と生活保護の一人当たりの平均月額について比較してみると、生活保護の平均額が約14.1万円なのに対して、国民年金の平均額が約5.4万円、厚生年金が約14.8万円です。この状況で年金をカットしていくと、高齢の生活保護世帯が増え、結果として、国家財政を圧迫しかねません。

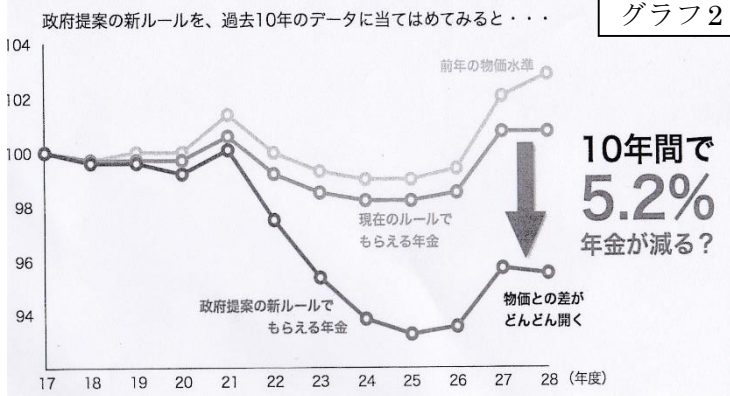
1人当たりの平均月額(平成26年度)

年金受給者の4人に1人は国民年金のみ
高齢者世帯の約6割は年金だけで生活



新ルールで年金が大幅に減るおそれ

グラフ2



グラフ2は、我が党の井坂議員が過去10年間に新ルールを当てはめるとどうなるかを試算したものです。それによると5.2%年金が減ることになります。これを財政検証を行った2014年度のモデル年金額にあてはめると国民年金で年間4万円、月額3300円減り、厚生年金でも年間14.2万円、月額1万1800円減る計算になります。

これだけの大きな減額が理論上あり得るわけですから、国民にとって辛いことをお願いする場合、きちんとこうなり得ることを説明すべき責任が政府にあるのではないかと玉木議員が安倍総理のリーダーシップ発揮を求めたところ、「厚労大臣に聞いてくれ」と答弁し、無責任ぶりを示しました。アベノミクスが順調であるならば、賃金が下がることを想定することは大きな矛盾です。「年金カット法案」を成立させたいのであれば、まずアベノミクスが失敗していることを認めるべきです。